日本油化学会　東海支部　油化学セミナー2023

テーマ：食品・生体成分としての脂質機能と分析技術

概要：食品や生体中の様々な脂質成分の機能解析が行われています．それには個々の脂質の分析技術が重要です．本セミナーでは，4 名の講師をお招きして脂質の機能や体内動態，関連する分析技術の研究事例をご紹介いただきます．オンラインのため遠方の方も参加し易くなっております．多数のご参加をお待ちしております．

主催：公益社団法人日本油化学会東海支部
協賛：日本化学会(東海支部)，日本分析化学会(中部支部)，化学工学会(東海支部)，
高分子学会(東海支部)，色材協会(中部支部)，東海化学工業会，
有機合成化学協会(東海支部)，日本農芸化学会（中部支部）

日時：2023 年 6 月 14 日（水）　13:00～
会場：Zoom によるオンライン開催

プログラム：
13:00~13:05　開会挨拶
13:05~14:05　「カロテノイドにおけるシス-トランス異性体分析の重要性」
名城大学理工学部 本田真己 氏
カロテノイドは天然に広く分布する脂溶性色素であり，健康食品や化粧品，畜産・水産飼料など幅広い用途で利用されている．カロテノイドは分子内に多くの共役二重結合をもつことから，多数のシス-トランス異性体が存在する．近年，カロテノイドの異性体間において，物理化学的性質や生理活性が大きく異なることが分かってきた．本講演ではこれらについて紹介するだけでなく，カロテノイド異性体の分析方法ならびに分析の重要性について述べる．

14:05~15:05　「油脂分析におけるヘリウム削減および代替キャリアガスによる GC 分析のノウハウについて」
アジレント・テクノロジー(株) ラボラトリーソリューション営業本部 高桑裕史 氏
ガスクロマトグラフ(GC)は脂肪酸組成，トランス脂肪酸含量などの油脂分析に使用されている．キャピラリ GC のキャリアガスとしてヘリウムが一般的に使用されているが，ヘリウムは世界的な需給の逼迫により入手自体が困難となっている．この状況に対応するため，弊

社で取り組んできたヘリウムガスの節約法や水素および窒素を代替キャリアガスとして使用したGC分析についてノウハウを油脂分析のアプリケーションとともに紹介する.

15:10~16:10　「食べた酸化脂質の行き着く先は？」

東北大学 大学院農学研究科 仲川清隆 氏

脂質は，私たちのからだを構成する重要な成分です．一方，脂質が酸化され酸化脂質となり，からだに蓄積すると，疾病に繋がると言われています．酸化脂質は私たちが日常的に食べる食品（油等）に少なからず含まれているため，その行方（摂取したものは吸収され蓄積するのか？吸収されずに代謝されるのか？）に興味が持たれています．本講演では，私たちの分析技術を紹介しつつ，酸化脂質の吸収・代謝に関して新たにわかってきたことをご紹介できればと思います.

16:10~17:10 「超臨界流体を用いた脂質プロファイリング技術の開発」

九州大学 生体防御医学研究所　馬場健史 氏

気体と液体の両方の性質を有するユニークな超臨界流体を代謝物解析に効果的に適用することを目的として，種々の超臨界流体利用技術の開発を試みている．本講演では，多様な化合物を高解像度で分離可能な超臨界流体クロマトグラフィー（SFC）や易酸化物など変化を受けやすい代謝物をインタクトの状態で抽出が可能な超臨界流体抽出（SFE）の脂質プロファイリングにおける適用技術の開発について，実サンプルへの応用例も示しながら紹介する.

17:10~　閉会挨拶

参加費：普通会員・法人会員・協賛団体会員: 10,000 円,
学校・官公庁: 5,000 円,　会員外: 14,000 円（事前振込のみですのでご注意ください）

申込方法: (公財)中部科学技術センターHP（http://www.cstc.or.jp）よりお申込みください.
トップページの「他団体新着情報」から本セミナーの案内に入り，「申込方法」の参加申し込みフォームをクリックし，必要事項をご記入ください.

連絡先：〒460-0011 名古屋市中区大須一丁目 35-18 中部科学技術センター内
日本油化学会 東海支部 TEL 052-231-3070 FAX 052-204-1469
振込先：三菱 UFJ 銀行八重洲通支店 普通預金口座 No.0757802 公益社団法人日本油化学会
申込締切：2023 年 4 月 1 日(土)より先着順（定員に達した時点で募集を打ち切らせていただきます）
定 員：100 名